

I 概 要

1 沿革

鹿兒島大学農学部附属農場は、明治41年（1908）、勅令第68号によって創設された鹿兒島高等農林学校の実験実習農場として設置された。その後、大正元年に種子島牧場、大正5年に唐湊果樹園、大正7年に指宿植物試験場が相次いで設置され、現在の陣容がほぼ整備された。昭和24年（1949）、法律第150号国立学校設置法により鹿兒島大学農学部附属農場となり、昭和43年には種子島牧場が入来町に移転し、入来牧場と改称されるなど幾多の変遷を経て現在に至っている。主な出来事は年譜に示したとおりである。

当場は、農場本部と学内農場農事部、学内農場畜産部、唐湊果樹園、指宿植物試験場および入来牧場の5付帯施設からなる分散型農場であり、それぞれの立地する地域の特性を活かし、特色ある教育・研究を教員、技術職員、事務職員一体となって推進している施設である。農場実習は、機能の異なる5付帯施設において、畜産、果樹、普通作物、野菜、花卉、観葉植物および熱帯作物といった農業のほぼ全分野にわたって実施されている。また、果樹、熱帯作物、花卉、家畜の遺伝資源収集を行っている。さらに、農業技術の指導および公開講座等を介して地域農業発展に取り組んでいる。

<年譜>

明治41年3月(1908)	勅令第68号により鹿兒島高等農林学校が創設され実験実習農場設置
大正元年11月(1912)	附属農場種子島牧場設置
大正5年7月(1916)	附属農場唐湊果樹園設置
大正7年10月(1918)	附属農場指宿植物試験場設置
昭和19年4月(1944)	鹿兒島農林専門学校附属農場と改称
昭和21年2月(1946)	附属農場伊佐総合実験場設置
昭和24年5月(1949)	法律第150号国立学校設置法により鹿兒島大学農学部附属農場設置
昭和31年3月(1956)	附属農場伊佐総合実験場廃止
昭和43年3月(1968)	附属農場種子島牧場廃止
昭和43年4月(1968)	附属農場種子島牧場を薩摩郡入来町に移転し、附属農場入来牧場と改称
昭和46年4月(1971)	附属農場事務長制設置
昭和51年7月(1976)	附属農場指宿植物試験場研究宿泊棟竣工
昭和56年1月(1981)	附属農場研究実習棟竣工
昭和56年9月(1981)	附属農場唐湊果樹園研究実習棟竣工
昭和58年3月(1983)	附属農場動物飼育棟竣工
平成10年9月(1998)	附属農場の将来構想を策定
平成11年4月(1999)	農場事務長制廃止および附属農場事務の農学部事務部への一元化
平成19年4月(2007)	施設主任制から植物・動物部門主任制へ変更、技術総括ポストの新設、実習教育委員会の設置と兼任教員制の導入（附属農場規則の改正及び実習教育に関する要項の制定）
平成20年7月(2008)	附属農場事務の総務係および業務係が事務係へ統合

2 施設の所在地と特色

1) 農場本部：〒890-0065 鹿兒島市郡元一丁目21番24号

農場の管理運営と企画調整を担当する専任教員組織（主事、植物部門主任および動物部門主任）ならびに農場運営（総務、会計、生産物販売等）を担当する事務部で構成された部門である。

2) 学内農場農事部：〒890-0065 鹿兒島市郡元一丁目21番24号

大学構内にある。約3haの用地の中に、水田、畑地、施設ハウスを備え、水稻、畑作物、野菜および花卉を中心とした教育実習と研究を行っている。

3) 学内農場畜産部：〒890-0065 鹿兒島市郡元一丁目21番24号

大学構内にある。ウシ、ブタ、ヤギ、ニワトリ、ウマを飼育する動物飼育棟を中心に、教育実習と研究を行っている。

4) 唐湊果樹園：〒890-0081 鹿児島市唐湊三丁目32番1号

大学キャンパスの西南部2kmに位置した傾斜地に設置された果樹専門の施設である。約7haの用地にカンキツ、ビワ等の常緑果樹、モモ、カキ、クリ、スモモ、ウメ、ブルーベリーなどの落葉果樹が栽植され、それらを対象とした教育実習と研究を行っている。また、果樹の遺伝資源施設として国内有数の規模を有している。

5) 指宿植物試験場：〒891-0402 指宿市十町1291

指宿市に設置されている施設(約3ha)である。温暖な気候と温泉熱利用を活かした熱帯・亜熱帯性の作物、野菜、果樹、観賞植物など対象とした教育実習と研究を行っている。また、熱帯・亜熱帯性植物の遺伝資源施設として国内有数の規模を有している。

6) 入来牧場：〒895-1402 薩摩川内市入来町浦之名字大谷4018-3

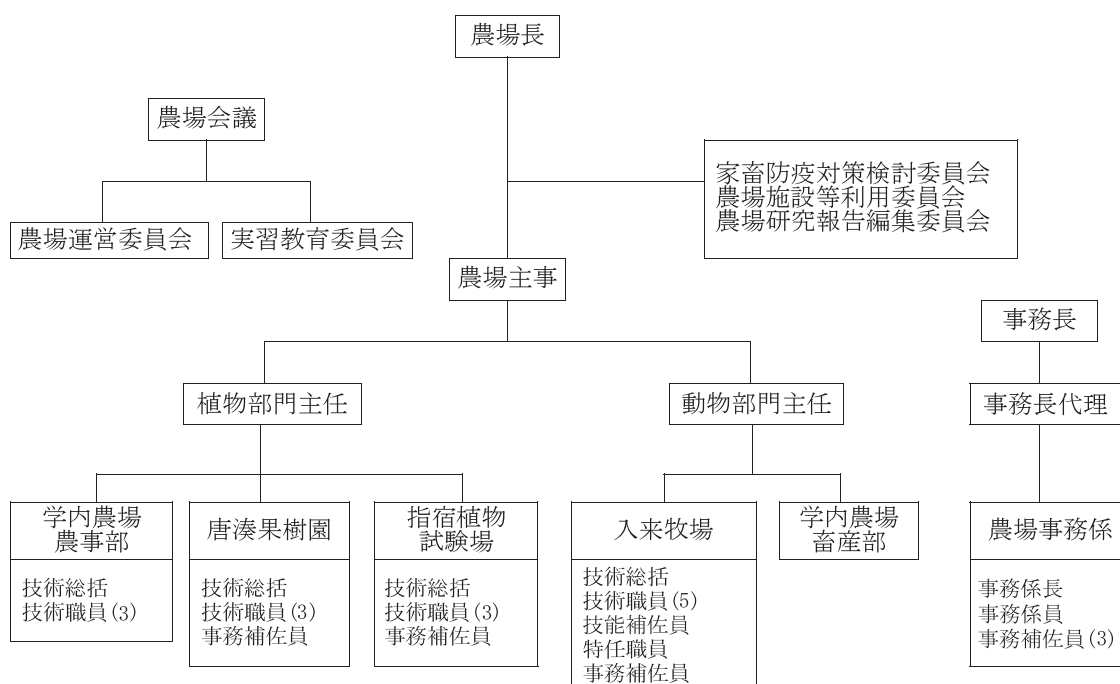
薩摩川内市と鹿児島市の境に位置する八重山の頂上近くに設置された牧場である。ウシ、ヤギおよびウマが飼育されており、それらを対象として実習教育と研究を行っている。

3 組 織

平成19年4月から農場実習の充実と高度化を図るために、実習教育体制と農場運営組織の再編を行った。実習教育に関しては、学理と実習の統合した実習教育を推進するため、施設主任制から兼担教員制に改めるとともに、兼担教員による「実習教育委員会」を新たに設置した。また、家畜飼養に関する衛生管理を強化するために「家畜防疫対策検討委員会」を設置した。

農場の運営組織としては、施設主任制から部門主任制に移行するとともに、部門主任を農場本部付きとした。また、各施設の技術職員組織に技術総括ポストを新たに設けた。

1) 組織図



2) 職員配置

農場長(兼任)、主事、植物部門主任(学内農場農事部、唐湊果樹園、指宿植物試験場担当)および動物部門主任(入来牧場、学内農場畜産部担当)が配置され、学内畜産部を除いた各施設には、技術総括が1名と技術職員が配置されている。技術職員は技術総括を含め、農事部4名、唐湊果樹園4名、指宿植物試験場4名、入来牧場6名(再雇用職員1名を含む)で、総勢18名である。なお、入来牧場には特任職員(特任准教授)1名と技能補佐員1名が配置されている。また、事務職員は2名、事務補佐員は6名(再雇用職員1名、非常勤職員5名)の配置となっている。

第1表 職員配置および人数

区 分	教授	准教授	助教	技術総括	技術職員	特任職員	技能補佐員	事務職員	事務補佐員
農場長	[1]								
農場本部									
農場主事	1								
植物部門主任		1							
動物部門主任			1						
学内農場農事部				1	3				
学内農場畜産部									
唐湊果樹園				1	3				1
指宿植物試験場				1	3				1
入来牧場				1	5	1(特任准教授)	1		1
事務部								2	3
合 計	1[1]	1	1	4	14	1	1	2	6

[]は兼務

3) 職員名簿 (平成24年3月31日現在)

農場長 (兼任)	教 授	坂田 祐介 (観賞園芸学研究室)
主 事	教 授	遠城 道雄
植物部門主任	准教授	朴 炳宰
動物部門主任	助 教	大島 一郎
(学内農場農事部)		
植物部門主任	准教授	朴 炳宰
技術総括	技術専門職員	野村 哲也
	技術職員	田浦 一成
	技術職員	城戸 麻里
	技術職員	富永 輝
(学内農場畜産部)		
動物部門主任	助 教	大島 一郎
(唐湊果樹園)		
植物部門主任	准教授	朴 炳宰
技術総括	技術専門職員	川口 昭二
	技術専門職員	福留 弘康
	技術職員	勘米良祥多
	技術職員(任期付職員)	中村 徹
	事務補佐員	堀内由美子
(指宿植物試験場)		
植物部門主任	准教授	朴 炳宰
技術総括	技術専門職員	谷村 音樹
	技術専門職員	新地 富一
	技術職員	中野 八伯
	技術職員(育児休業)	寺本 玲香
	事務補佐員	岩下 愛
(入来牧場)		
動物部門主任	助 教	大島 一郎
	特任准教授	山口 浩
技術総括	技術専門職員	片平 清美
	技術専門職員	松元 里志
	技術専門職員	木山 孝茂
	技術職員	廣瀬 潤
	技術職員	石井 大介
	技術職員(再雇用)	花田 博之
	技能補佐員	原口 隆一
	事務補佐員	岩切 洋美

I 概 要

(事務部)

事務係	係 長	桑畑 実代
	係 員	半渡 聡
	事務補佐員(再雇用)	茂利 進一
	事務補佐員	加世田素子
	事務補佐員	有田美和子

4 土地および建物

農場の所有する土地および建物の面積を第2表と第3表に示した。

第2表 施設毎の土地面積 単位：㎡

区 分	学内農場農事部	唐湊果樹園	指宿植物試験場	入来牧場	計
水田	13,960	0	0	0	13,960
畑 (含む採草地)	6,706	6,850	10,436	980,000	1,003,992
果樹園	0	42,608	3,994	0	46,602
放牧地	0	0	0	448,440	448,440
温室	600	396	1,550	0	2,546
ビニールハウス	282	3,520	5,350	0	9,152
建物敷地その他	10,442	19,709	7,615	50,011	87,777
合 計	31,990	73,083	28,945	1,478,451	1,612,469

第3表 施設毎の建物面積 単位：㎡

<本部・学内農場農事部・畜産部>			<唐湊果樹園>		
建物名称	構 造	面 積	建物名称	構 造	面 積
研究実習棟	R2	881	研究実習棟	R2	752
堆肥舎	R1	91	温室	S1	204
動物飼育棟	S1	650	燃料庫	B1	4
管理棟	R2	147			
リサイクル場・資源有機物	S1	77			
合 計		1,846	合 計		960

<指宿植物試験場>			<入来牧場>		
建物名称	構 造	面 積	建物名称	構 造	面 積
研究棟・宿泊施設	R3	819	管理棟	R2	659
収納庫	w1	93	畜舎棟	R2	1,910
倉庫	w1	40	燃料庫	B1	12
堆肥舎	B1	30	肥育牛舎	S1	1,500
収納舎	w1	93	堆肥舎	S1	320
農具庫・倉庫	B1	119	牛舎	S1	672
資材倉庫	w1	36			
便所	R1	15			
植物温室	S1	138			
果樹温室	S1	208			
花卉温室	S1	312			
蔬菜温室	S1	330			
植物温室	S1	210			
合 計		2,443	合 計		5,073

5 農機具、車両および備品

農場で現有している農機具と車両の一覧表を第4表に、備品を第5表に示した。本年度に新規購入した農機具および車両は第7表に示した。

第4表 施設毎の農機具および車両

施 設 名	農機具名及び車両	メーカー・型式	用途	購入年月
学内農場農事部	普通乗用車	トヨタ PROBOXV PX	乗 用	H19. 6
	トラクター	ヤンマー US-36	農耕用	H11.12
	乗用田植機	ヤンマー PE-IX.S	〃	H16. 6

	耕耘機	ヤンマー	農耕用	H 2. 3
	〃	ヤンマー YA70FA	〃	H 8. 7
	脱穀機	ヤンマー YAPKA6DE	〃	H 2.10
	籾すり機	ロータリーハラ RHS400A	〃	H10.10
	マニユアスプレッダー	デリカ DAM-1530S	〃	H 2. 3
	乾燥機	ヤンマー YCD-21FX3	〃	H 8. 3
	ハイベラー	スター THB1050	〃	H 9. 3
	中型チッパー	東興 71020	〃	H12. 6
	運搬車	ヤンマー VP8GD	〃	H 9. 9
	〃	ヤンマー HFG182PPC	〃	H12. 2
	タマネギ移植機	ヤンマー PM2-D24	〃	H17.11
	コンバイン	ヤンマー GC323VXJ	〃	H18. 3
	ポット土入機	スズテック STK-37PS	〃	H19. 3
	ロータリー	ヤンマー RB15SG	〃	H20. 4
	〃	ニプロ CX18100S・CX10-STA	〃	H20.10
	1輪管理機	ヤンマー SK65	〃	H21. 2
	軽トラック	ダイハツ 農用スペシャル 4WD	〃	H21. 2
	トラクター	ヤンマー FE122・VUKS4G	〃	H22. 2
	ハウス用ヒートポンプ	イーズ社 SPW-AGCHVP180EN	〃	H24. 3
	運搬車	ヤンマー FG183SD4WD	〃	H10. 3
	〃	ヤンマー MOG1500LD	〃	H15. 3
唐湊果樹園	貨物自動車	いすゞダンプ PB-NKR81AN	輸送用	H16.11
	ミニ油圧ショベル	コマツ PC25-1	土木用	H 8. 3
	乗用型ロータリーモア	ヤンマー SRM1010VH	農耕用	H 9. 6
	トラクター	ヤンマー KE40ASZ	〃	H10. 3
	ローダー	ボブキャット 453型	〃	H11. 6
	ブレードキャスター	タカキタ BS-521SSY	〃	H13. 2
	運搬車	ヤンマー FG183SD4WD	〃	H13. 3
	運搬車 サテライト	筑水 ELS670-KCDP	〃	H19. 1
	4輪オイル運搬車	ヤンマー FG185SD B-4	〃	H21. 3
指宿植物試験場	乗用車	トヨタカローラワゴン AE100G	乗用	H 5.11
	普通貨物自動車	マツダ タイタンダッシュ	輸送用	H17.12
	トラクター	イセキ TU-185FUWX	農耕用	H 1. 3
	運搬車	イセキ SL375DSE	〃	H 8. 2
	〃 2台	イセキ SL380DSE	〃	H 9. 3
	〃 〃	イセキ AM61L	〃	H18. 3
	耕耘機	イセキ KC100FD	〃	H 9. 2
	乾燥機	金子農機 BBF-202-NSP	〃	H13. 5
	マルチロータリー	イセキ RAY1207	〃	H18. 3
	スキッドステアローダー	TCM	〃	H18. 3
	トラクター	イセキ TH193Q・ARH143S	〃	H22. 3
入来牧場	貨物自動車	トヨタダイナ KK-XZU421	輸送用	H12. 9
	〃	トヨタダイナ KK-XZU400A	〃	H16. 2
	〃	マツダブローニー Z-SDEAT	〃	H 7. 8
	普通乗用車	トヨタ PROBOX VPX	〃	H19. 3
	トラクター	ジョンディア JD-6200DPMSGH	農耕用	H12. 3
	〃	ジョンディア JD-6410	〃	H13. 2
	〃	ジョンディア JD-6215	〃	H15. 8
	マニユアスプレッダー	ジョンディア JD-4	〃	H 7. 3
	〃	ヤンマー	〃	H17. 7
	ロールベラー	ジョンディア JD-570	〃	H12.10
	フロントローダー	ジョンディア JD-851PC	〃	H15. 8
	ジャイロレーキ	ヤンマー GRY6501H	〃	H18. 3
	ジャイロテッター	ヤンマー GTY6400H	〃	H20. 3
	バーチカルハロー	スガノ DC230SP	〃	H19. 3
	フロントローダー	イセキ	〃	H19. 3
	トラクター	イセキ T5095DGLCY22	〃	H19. 3
	ボラントⅡ	生石灰ボラント仕様 EP6045Ⅱ	〃	H20. 7
	ベールディストリビュータ	ヤンマー T-12 HBL	〃	H21. 2
	ディスクハロー	レムケン社 8/300 R	〃	H23. 9
	クレーン	ユニック UR053	土木用	H10. 2
	臨床化学自動分析装置	スッポトケム EZ SP-4430	研究用	H18. 4

I 概 要

第5表 施設毎の備品

施設名	物 品 名	規 格	用 途	購入年月	取得価額
主事研究室	原子吸光分析装置	パーキンエルマージャ	解析装置	H13. 3	3,150,000
主事研究室	プラント・キャノピーアナライザー	メイワフォーシス LAI-2000	解析装置	H20.11	1,872,570
学内農事部	食味分析計	PS-500型	測定装置	H15. 3	1,134,000
学内畜産部	超音波診断装置	SON-TITAN-A	診断装置	H18. 3	2,100,000
唐湊果樹園	枝葉木粉碎機	セツア SRE110	粉碎機	H15. 3	893,550
入来牧場	臨床化学自動分析装置	スポットケム EZSP-4430	分析装置	H18. 4	1,050,000
入来牧場	マイクロプレートリーダー	バイオテック NJ-2300	測定装置	H19. 4	630,000
入来牧場	自動哺乳システム (牛用プレミアムボーイ SA)	独 Foreste Technik 製	自動哺乳装置	H19.12	2,100,000
入来牧場	カートリッジ式全自動酸化エチレンガス滅菌器	エルクコーポレーション SA-N540	診療装置	H20. 5	1,298,850
入来牧場	血球計算機	POCH 100ivDiff	測定装置	H20. 5	1,396,500
入来牧場	高温高圧洗浄機	ケルヒャージャパン HDS8/14C	診療装置	H20. 6	525,000
入来牧場	パーソナルマルチガスインキュベータ	アステック APM-30D	診療装置	H20. 9	577,500
入来牧場	動物用超音波診断装置	アロカ ProSound2	診断装置	H21. 1	3,570,000
入来牧場	分娩監視装置	養牛カメラ	監視装置	H21.11	961,590